

## 【任意接種】 带状疱疹予防ワクチン接種費用助成のご案内



带状疱疹の発症および重症化を予防し、経済的な負担を軽減するため、50歳以上の村民の方に対して、带状疱疹予防ワクチンの接種費用を一部助成します。任意接種のため、努力義務はありません。

希望される方はワクチンの特徴や裏面のよくある質問集などを確認し、接種をご検討ください。

対象者：接種日現在、中札内村に住所を有する50歳以上の方

接種費用及び助成回数：生ワクチン…1回、4,000円

不活化ワクチン…2回、各10,000円(計20,000円)

※助成を受けられるのは一生に1度です。

接種場所：中札内村立診療所

※上記以外の医療機関で接種する場合は、助成を受けられません。

※償還払い制度はありません。

予約開始日：令和6年7月1日～

※予約方法等の詳細は、広報なかさつない7月号にてお知らせします。

連絡先：接種に関する相談は、福祉課保健グループまで(Tel:0155-67-2321)

### ●带状疱疹予防ワクチンの特徴

名称	乾燥弱毒生水痘ワクチン	带状疱疹ワクチン「シングリックス」
種類	生ワクチン	不活性化ワクチン
接種回数/接種間隔	<b>1回接種</b>	2か月以上あけて(～6ヶ月以内に) <b>2回接種</b>
自己負担額	4,000円/回	10,000円/回
接種方法	皮下注射 (インフルエンザワクチンと一緒に)	筋肉注射 (コロナワクチンと一緒に)
発症予防効果	带状疱疹： <b>50%</b> 带状疱疹後神経痛： <b>66%</b>	带状疱疹： <b>97%</b> (70歳以上では <b>90%</b> ) 带状疱疹後神経痛： <b>85%以上</b>
効果の持続期間	<b>5年</b>	<b>少なくとも10年</b> の予防効果あり
副反応	接種部位の痛み・腫れ (コロナワクチンよりも軽いです)	接種部位の痛み・腫れ(頻度は多い(コロナワクチンと同程度)が、3日後で消失)
その他の特徴	接種ができない方 ・免疫に異常が出る病気を持つ方 ・免疫を抑える治療をしている方 (免疫抑制剤、ステロイド、抗癌剤等)	・ <b>免疫機能に関わらず接種が可能</b>
メリット	値段が手頃で1回で済む	持続期間が長く、予防効果も確実
デメリット	効果はやや低く、持続期間も含めて 带状疱疹ワクチンには劣る	値段が高く2回接種が必要で、 副反応もやや多い

带状疱疹はかかると非常に辛く、带状疱疹後神経痛も合併すると一生ものの後遺症になる方もおりますので、水ぼうそうにかかったことがある50歳以上の方は、带状疱疹予防のワクチン接種をお勧めします。

●接種をする際の注意点について

予防接種は、体調がいい日に受けることが原則です。基礎疾患がある方は、主治医に相談の上、接種するか否かを決めてください。

下記の状態の場合には予防接種を受けることができません。接種当日までに延期の連絡が必要です。

- ① 明らかに発熱(通常 37.5℃以上をいいます)がある場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ 受けるワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④ 免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ その他、医師が予防接種を受けることが不適切な状態と判断した場合

●よくある質問

質 問	回 答
昔、水ぼうそうにかかったことがあります。ワクチンは必要でしょうか。	带状疱疹は体内に眠っている水ぼうそうのウイルスが再び暴れだすことで発症するので、水ぼうそうにかかったことがある方なら、だれでも発症する可能性があります。予防のためには、ワクチン接種をお勧めします。
一度带状疱疹を発症すると、接種の必要はないですか？	一度発症すると、しばらくは再発しないといわれていますが、専門医でも見解が分かれます。罹患直後は免疫が非常に活性化しているので、発症後1～2年を目途に接種をおすすめします。
すでに発症した带状疱疹後神経痛に対して効果はありますか？	効果は認められていません。再罹患予防のための接種は可能です。
接種の年齢に上限はありますか？	年齢上限はありませんが <u>下記の方は生ワクチン(水痘ワクチン)を接種できません。</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステロイドや免疫抑制剤等の免疫を抑制する治療を受けている人</li> <li>・悪性腫瘍、免疫抑制状態の人</li> </ul>
過去に自費で接種したことがある人も接種できますか？	本村の助成制度は、生涯に一度のみ利用できる制度です。過去に自費でワクチンを接種した人は、接種歴を村では把握していませんので、助成制度を利用することは可能ですが、 <u>シングリックス(不活化ワクチン)については、臨床試験での有効性・安全性が確立されていませんので、基本的に接種ができません。</u>
不活化ワクチン(シングリックス)の2回目の接種について、予定日となる「1回目から2か月後」とは、具体的にいつからのことですか？	予定日は次の通りに考えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1か月」の考え方 原則1か月後の同じ日と考えます。同じ日がない場合は、その末日で期間が満了したと考えます。</li> <li>・「2か月の間隔をおく」とは 例)11月10日に1回目を接種した場合 ⇒1月10日以降に2回目を接種可能。</li> </ul>
不活化ワクチン(シングリックス)の2回目接種が、1回目より6ヶ月以上経過してしまいました。	<u>費用助成の対象にはなりません。</u> 有効性・安全性の観点から、初回接種6か月後までに確実に2回目の接種ができるように、スケジュールを立ててください。

